

コロナ禍における地方移住の現状

認定NPO法人ふるさと回帰支援センター 副事務局長

かさみ

嵩 和雄

kasami@furusatokaiki.net

多様化する地方移住の形

Uターン

地方出身者が都会に出たあと、もともと住んでいた地方に戻る

孫ターン

都市出身者の孫の世代が祖父母の住む地方に移り住む

Jターン

地方出身者が都会に出たあと、出身地でない近隣地域に移り住む

Iターン

都会出身者が縁のない地方に移り住む

二地域居住 二拠点居住

都会を軸足とした週末移住から、地方を拠点にしたマルチハビテーションに変化

嫁ターン

都市出身者が地方の奥さんの出身地に移り住む（奥さんにとってはUターン）

Xターン

離婚後に親元に移り住む

アドレス ホッパー

拠点を持たずに、ゲストハウスやシェアハウスなどを転々として暮らすフリーランス等

ふるさと回帰支援センター相談者の出身地の割合 (2019)

(%)

北海道	3.0
北海道	3.0
東北	10.2
青森県	1.4
岩手県	1.3
宮城県	2.0
秋田県	1.1
山形県	1.7
福島県	2.6
関東	45.1
茨城県	1.7
栃木県	1.5
群馬県	1.9
埼玉県	6.0
千葉県	4.8
東京都	20.2
神奈川県	8.9

中部	14.7
新潟県	3.5
富山県	1.3
石川県	0.5
福井県	0.7
山梨県	1.0
長野県	1.7
岐阜県	1.2
静岡県	2.3
愛知県	1.5
三重県	0.9
近畿	6.5
滋賀県	0.4
京都府	0.7
大阪府	2.4
兵庫県	1.9
奈良県	0.4
和歌山県	0.6

中国	7.3
鳥取県	0.5
島根県	0.8
岡山県	0.8
広島県	3.4
山口県	1.8
四国	3.3
徳島県	0.5
香川県	1.0
愛媛県	1.1
高知県	0.8
九州	9.5
福岡県	2.6
佐賀県	1.1
長崎県	1.3
熊本県	1.1
大分県	1.1
宮崎県	1.3
鹿児島県	1.0
沖縄	0.2
沖縄県	0.2
国外	0.3
国外	0.3

東京圏（1都3県）出身
の相談者が39.9%

東日本大震災以降 ～ 地方移住の一般化と二極化

「田舎暮らし」ではない「地方暮らし」の発見

・・・「地方都市」への移住志向

- 東日本大震災を契機とした首都圏からの脱出組
- 地方移住そのものの含意が広くなる

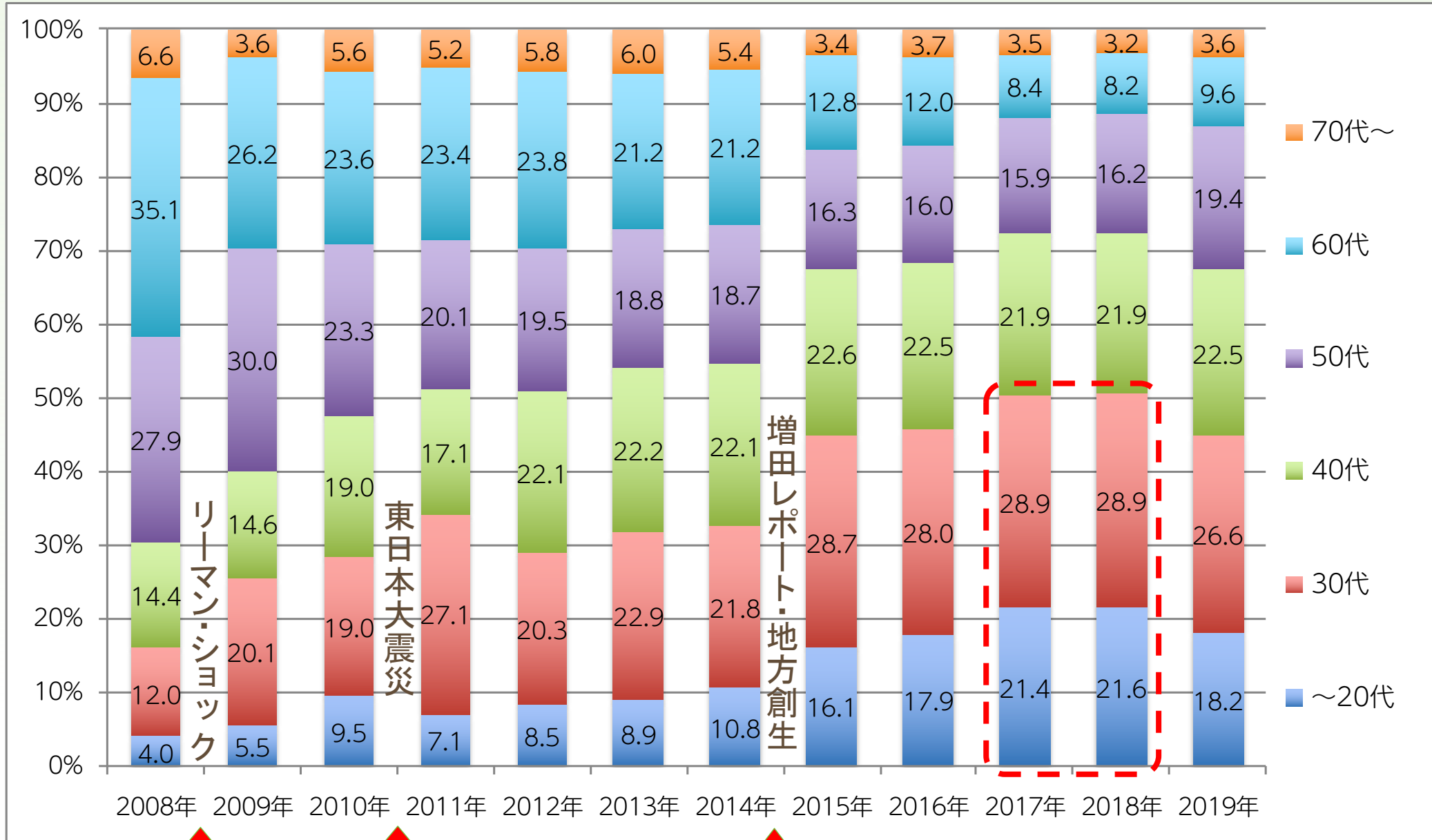


ライフスタイルを極端に変えたくない
“疎開的移住者”・・・地方都市へ

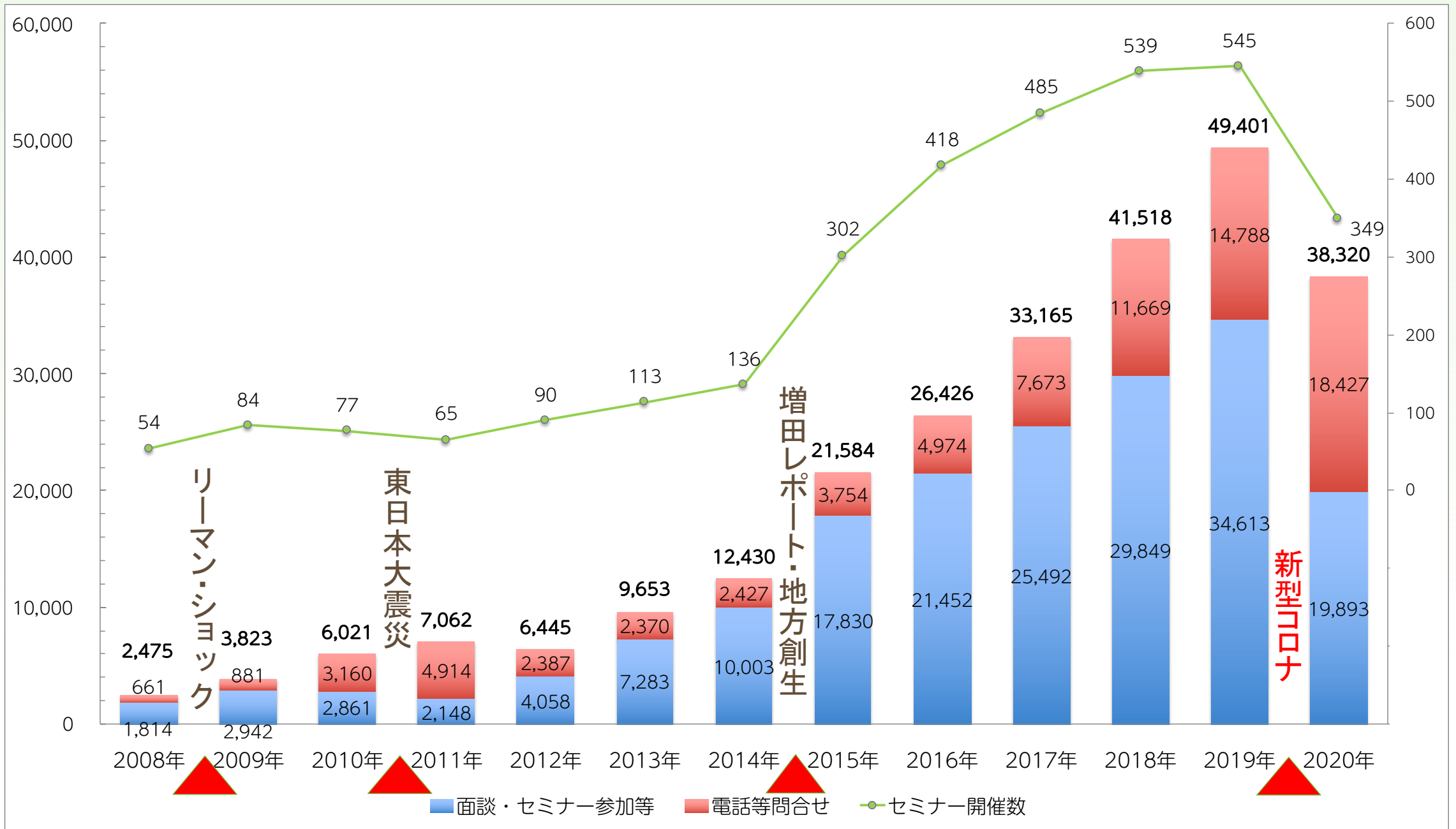
ライフスタイルの変革を望む
“アメニティ・ムーバー”・・・過疎地へ



【暦年】ふるさと回帰支援センター相談者：年代の推移（2008-19年）



移住相談件数の推移2008-20 (ふるさと回帰支援センター・東京)



新型コロナの移住イベントへの影響

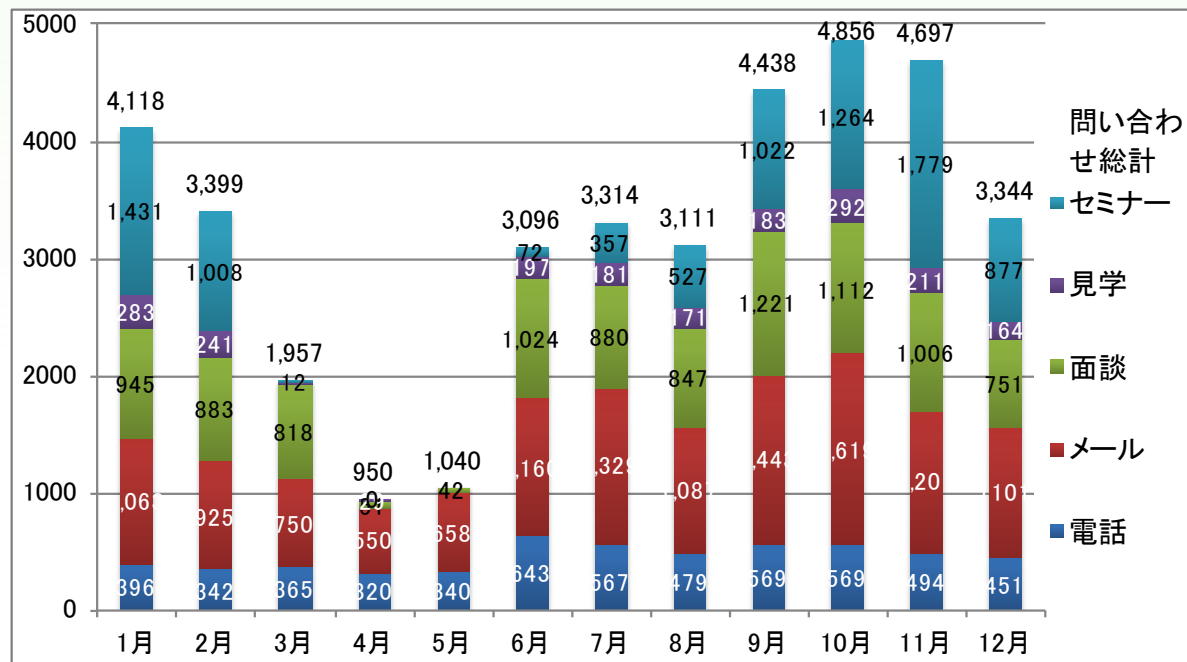
【暦年】東京情報センター 2020年集計

	電話	メール	面談	見学	セミナー	問い合わせ せ総計	対前月度比	対前年度比
1月	396	1,063	945	283	1,431	4,118	99.2%	135.9%
2月	342	925	883	241	1,008	3,399	82.5%	112.2%
3月	365	750	818	12	12	1,957	57.6%	64.1%
4月	320	550	51	29	0	950	48.5%	39.4%
5月	340	658	42	0	0	1,040	109.5%	36.8%
6月	643	1,160	1,024	197	72	3,096	297.7%	64.9%
7月	567	1,329	880	181	357	3,314	107.0%	59.9%
8月	479	1,087	847	171	527	3,111	93.9%	96.5%
9月	569	1,443	1,221	183	1,022	4,438	142.7%	93.5%
10月	569	1,619	1,112	292	1,264	4,856	109.4%	84.5%
11月	494	1,207	1,006	211	1,779	4,697	96.7%	68.4%
12月	451	1,101	751	164	877	3,344	71.2%	80.5%
総計	5,535	12,892	9,580	1,964	8,349	38,320		

2019年	(回数)		2020年	(回数)	
	開催数	中止数		開催数	中止数
2月	49		2月	55	14
3月	43		3月	1	63
4月	20		4月	0	17
5月	29		5月	0	19
合計	111		合計	56	94

◀ 2月からセミナー開催がキャンセル。

◀ 4月9日から6月1日まで在宅勤務へ移行（セミナー等は全て中止、相談は電話・メールで対応）



2019年	開催数	2020年	開催数	開催方法（6月以降）		
				対面	オンライン	Mix
6月	41	6月	6	2	3	1
7月	56	7月	24	7	15	2
8月	42	8月	24	2	16	6
9月	51	9月	34	4	26	4
10月	55	10月	47	5	25	17
11月	68	11月	64	8	41	15
12月	53	12月	43	4	31	8
合計	314	合計	199	28	126	45

新型コロナで動き始めた移住相談のオンライン化

メリット

- ・ **参加者の幅が広がる** → 首都圏以外の参加（海外からも参加可能）
- ・ **参加が気軽になる** → 空いた時間で参加可能に
- ・ **現場からの中継ができる** → なかなか東京に呼べないゲストが参加可能に
 - ・ 先輩移住者のお店や農場からの生中継（リアルな暮らしを見せられる）

デメリット

- ・ **参加者の幅が狭まる** → 通信環境や・PCなどの操作の苦手な人が参加できない
- ・ **参加者の離脱率が上がる** → 従来と同じ方法では飽きられてしまう。
- ・ **ライバルが増える** → ゴールデンタイムは競争率が高くなる

導入のハードル

- ・ **通信環境の未整備**（行政内セキュリティ・帯域確保）→ 最優先事項として認識
- ・ **ハード未整備**（WEBカメラ対応PC等）→ 新型コロナ対応地方創生交付金
- ・ **担当者のICTスキルとリテラシー不足** → 移住者・協力隊には高いスキルを持つ人も

《山形県》やまがた暮らし大相談会

有楽町の交通会館12階のホールで相談者を集め、県内の全35市町村と関係機関をオンラインでつないで個別相談



くらすべ山形
やまがた暮らし大相談会

会場とオンラインのミックスイベント

日時 2020年
11.29日
11:00 ▶ 17:00

会場
東京交通会館
東京都千代田区有楽町2-10-1
12階 カトリアサロン

入場無料

来場特典

来場者全員に
山形のお米「雪若丸」プレゼント!



来場者全員に
「庄内北前ガニのボールペン」プレゼント!



来場者全員に
GI「山形ラ・フランス」プレゼント!



アンケートに答えた方の中から抽選で15名様に
「総称 山形牛」
(14,000円相当)プレゼント!



*当選の発表は、品物の発送をもって代えさせていただきます。



新型コロナの拡大で、県内市町村と県庁の出張自粛指示が出たため、自治体はオンラインで参加（山形市、鶴岡市は東京事務所が対面相談）、相談者は会場のPCで個別相談



《広島県》 Setouchi life style (完全オンライン) 外国の方に向けたトークイベント



Feel and Breathe
My Setouchi Lifestyle
Talk Event
2020/II/26(thu) 20:00-21:00

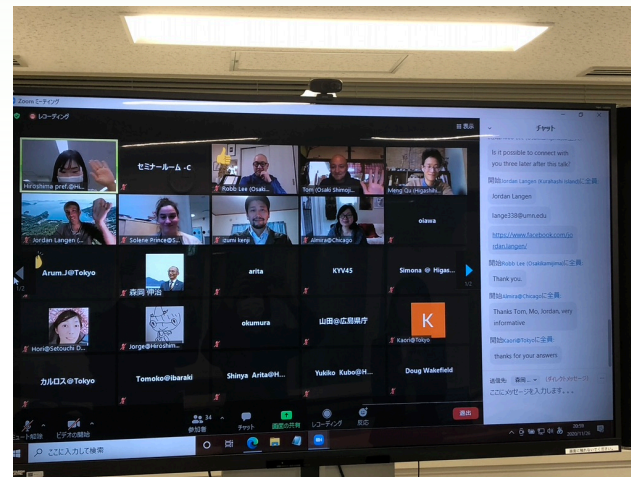
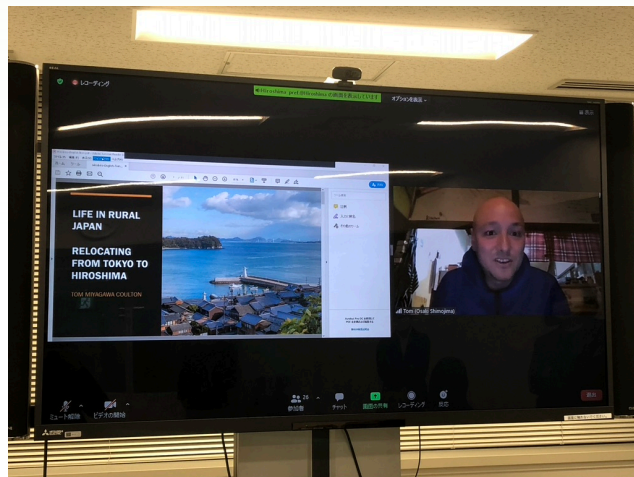
Jrodan Langen
(Kurahashi)

Tom Coulton
(Mitarai)

Meng Qu
(Higashi-hiroshima)

瀬戸内の山エリアと2つの島に住む3人にスポットをあてて、それぞれユニークなライフスタイルを紹介。

企画・司会進行すべて外国から広島に移住した人達で実施。



社会情勢の変化による移住スタイルの変容

リーマン・ショック . . . 「消極的移住」

- 就労の場を求めて田舎へ（一次産業）

東日本大震災 . . . 「疎開的移住」

- 「田舎」から「地方都市」へ

地方創生 . . . 「積極的移住」

- Uターン、起業、多拠点居住

現状の暮らしへの不安・不満

地方暮らしの魅力
+α

新型コロナ . . . 複合的なインパクト（上記3つが同時発生）

- リモートワーク移住 → 積極的移住
 - これまで地方移住を考えていた人たちが積極的に動き始めた
 - フルリモートワークOKとなり、仕事の不安が解消
- 失業者の増加 → 消極的移住

都市住民の「価値観」と「移住の概念」の変化

都市の価値の低下

若者の地方志向（Uターン志向） 20歳代後半～ … ライフステージの転換期

- スマートフォン・SNSの普及 → 途切れない人間関係と情報の同時性
- 結婚～出産～子育て等、中長期的な将来設計を考える時期
→ 相対的に「東京」の価値が下がるタイミング

東日本大震災～新型コロナ … 都市生活への不安と現状の住まいへの不満

- 都市生活のリスクが顕在化 ※ 都市 = 人口規模が大きい、密度が高い、異質性・移動性が高い

リモートワーク移住

- 転職を伴わない移住（出社を前提としない働き方）
- 1時間半程度の通勤時間は許容（週に2日程度の出勤）

消極的移住

- 経済情勢の悪化による失業者の増加
 - 生活コストを下げるための移住、一次産業、地域おこし協力隊等への就労）

新型コロナ禍での移住の可能性と課題

仕事 … リモートワーク移住=**転職を伴わない移住**

- ▶ 北関東3県の相談件数（電話・メール・面談）が前年同期比1.5～2倍に（6-9月）
 - ▶ 在宅勤務に伴う週に2日程度の出社 = 「郊外」への「引っ越し」ニーズ
 - ・ **拡張する郊外**：外環道エリア → 圏央道エリア → 小田原、高崎まで東京の郊外化
 - ▶ 通勤時間と部屋数のバーター（部屋数 ≧ 通勤時間）

住まい … 賃貸から購入へ（ローン審査の壁）

- ▶ 購入への不安・・・地域に縁のある人がメインターゲット
 - ▶ 未だに根強い賃貸ニーズ VS 空き家でない空き家問題

受け入れ体制 … ヨソモノへの不安と不信

- ▶ 自治体の期待 VS 集落側の不安
 - ▶ 現地訪問・交流による「関係づくり」が困難に
 - ▶ オンラインだけでは関係づくりに時間がかかる